

# 2023年新卒者の採用・ インターンシップに関する調査 【集計結果】

2022年6月16日  
東京商工会議所 人材・能力開発部

# 調査概要

調査期間：2022年4月27日～5月13日

調査対象：2022年度 第1回「会員企業と学校法人との就職情報交換会」（4月27日開催）の参加企業221社

回答数：177社（回答率：80.1%）

調査目的：2023年新卒者の採用、インターンシップに関する企業の動向を把握するため

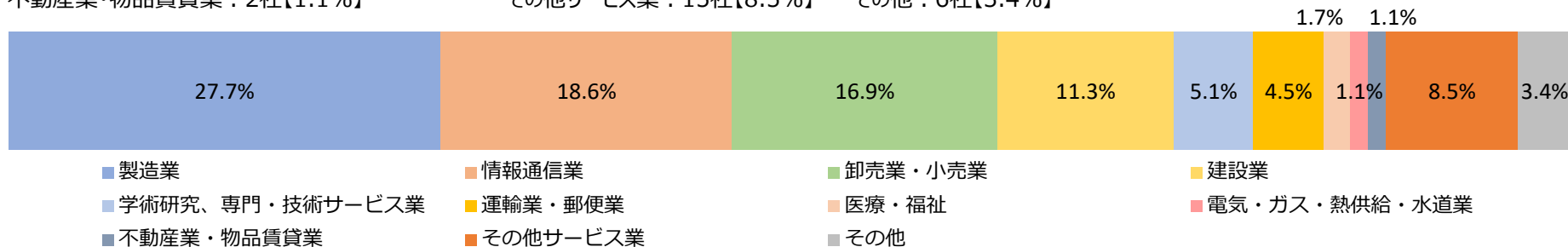
調査方法：Webアンケートシステムを利用

備考：本調査結果における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合がある

## <回答企業の属性> n = 177

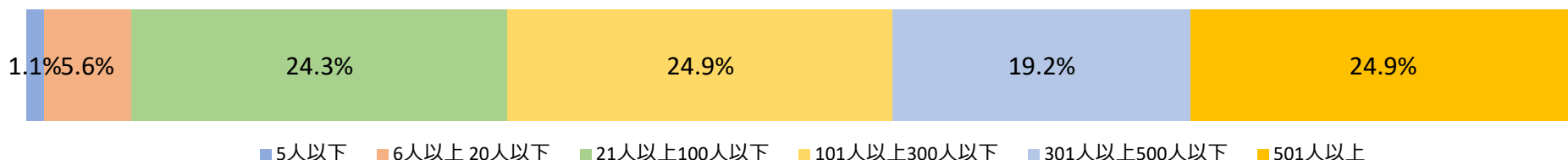
### 【業種】

製造業：49社【27.7%】      情報通信業：33社【18.6%】      卸売業・小売業：30社【16.9%】      建設業：20社【11.3%】  
学術研究、専門・技術サービス業：9社【5.1%】      運輸業・郵便業：8社【4.5%】      医療・福祉：3社【1.7%】      電気・ガス・熱供給・水道業：2社【1.1%】  
不動産業・物品賃貸業：2社【1.1%】      その他サービス業：15社【8.5%】      その他：6社【3.4%】



### 【従業員規模】

5人以下：2社【1.1%】      6人以上20人以下：10社【5.6%】      21人以上100人以下：43社【24.3%】      101人以上300人以下：44社【24.9%】  
301人以上500人以下：34社【19.2%】      501人以上：44社【24.9%】



# 採用予定人数、採用・選考活動の時期

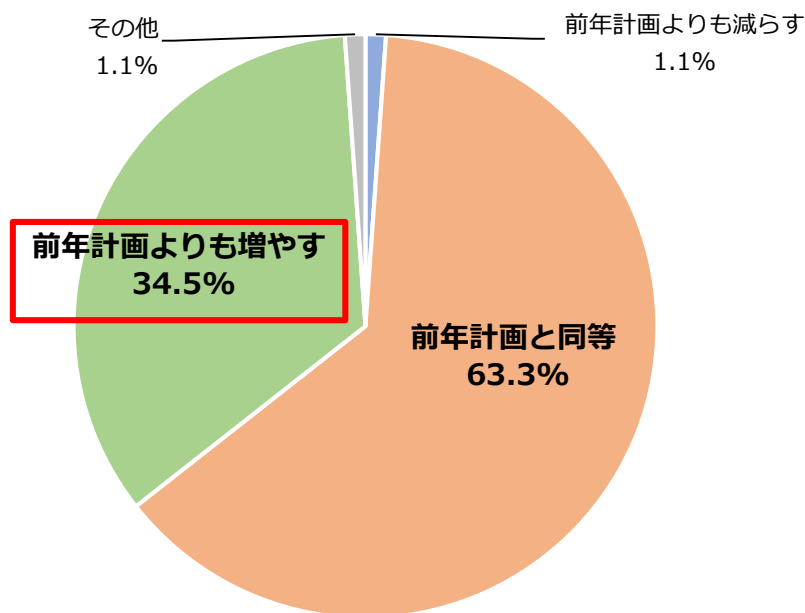
## 【図表左：採用予定人数】

- 2023年新卒者（大学生・大学院生）の「採用予定人数」について、「前年計画と同等」と回答した企業が**63.3%**で最も多いが、「前年計画よりも増やす」と回答した企業が**34.5%**あることから、企業の採用意欲が高まっていることがうかがえる。

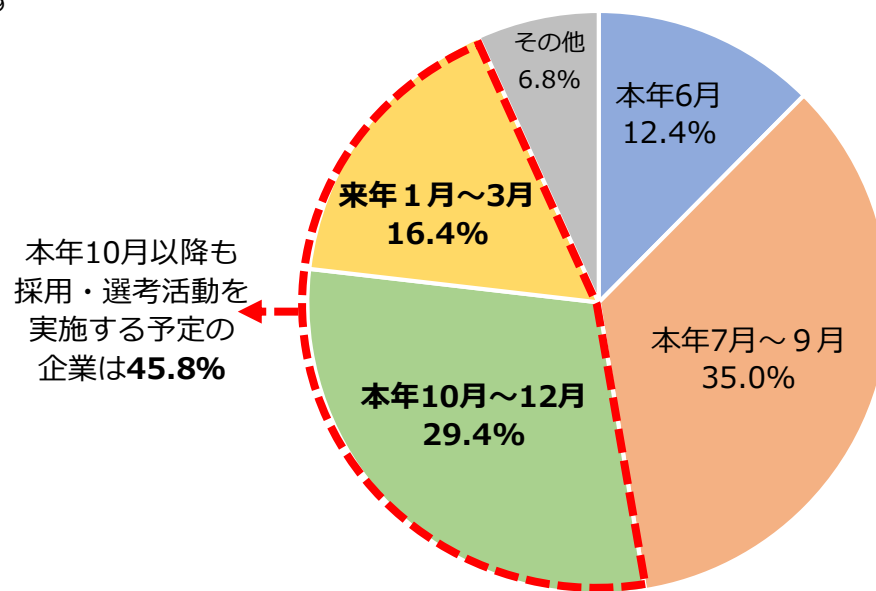
## 【図表右：採用・選考活動をいつ頃まで実施する予定か】

- 2023年新卒者（大学生・大学院生）の採用・選考活動をいつ頃まで実施する予定・見通しなのかについては、「**本年7月～9月**」が**35.0%**で最も多かった。
- 一方、政府要請に基づく「就職・採用活動の日程」では、正式な内定日が卒業・修了年度の10月1日以降とされ、この時期までに新卒採用・選考活動を終了する企業が多いと思われる中で、**本年10月以降も採用・選考活動を実施する予定の企業が45.8%**を占めている。

■ 採用予定人数 n=177



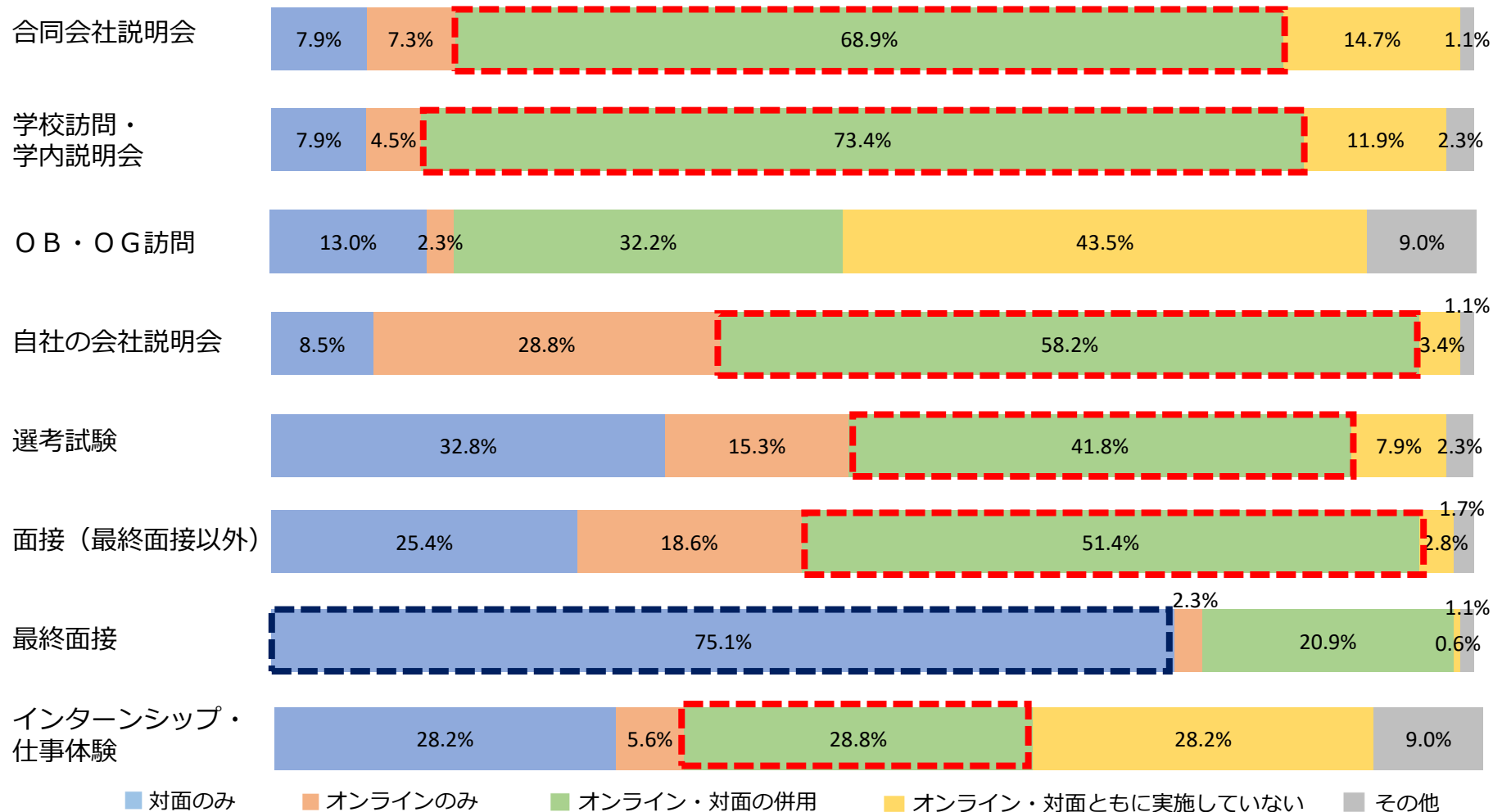
■ 採用・選考活動をいつ頃まで実施する予定か n=177



# 採用・選考活動等におけるオンライン対応

- 2023年新卒者（大学生・大学院生）の採用・選考活動等におけるオンライン対応については、「OB・OG訪問」、「最終面接」を除く各活動で「オンライン・対面の併用」と回答した企業が最も多い。
- 「最終面接」に関しては、「対面のみ」と回答した企業が75.1%を占めている。

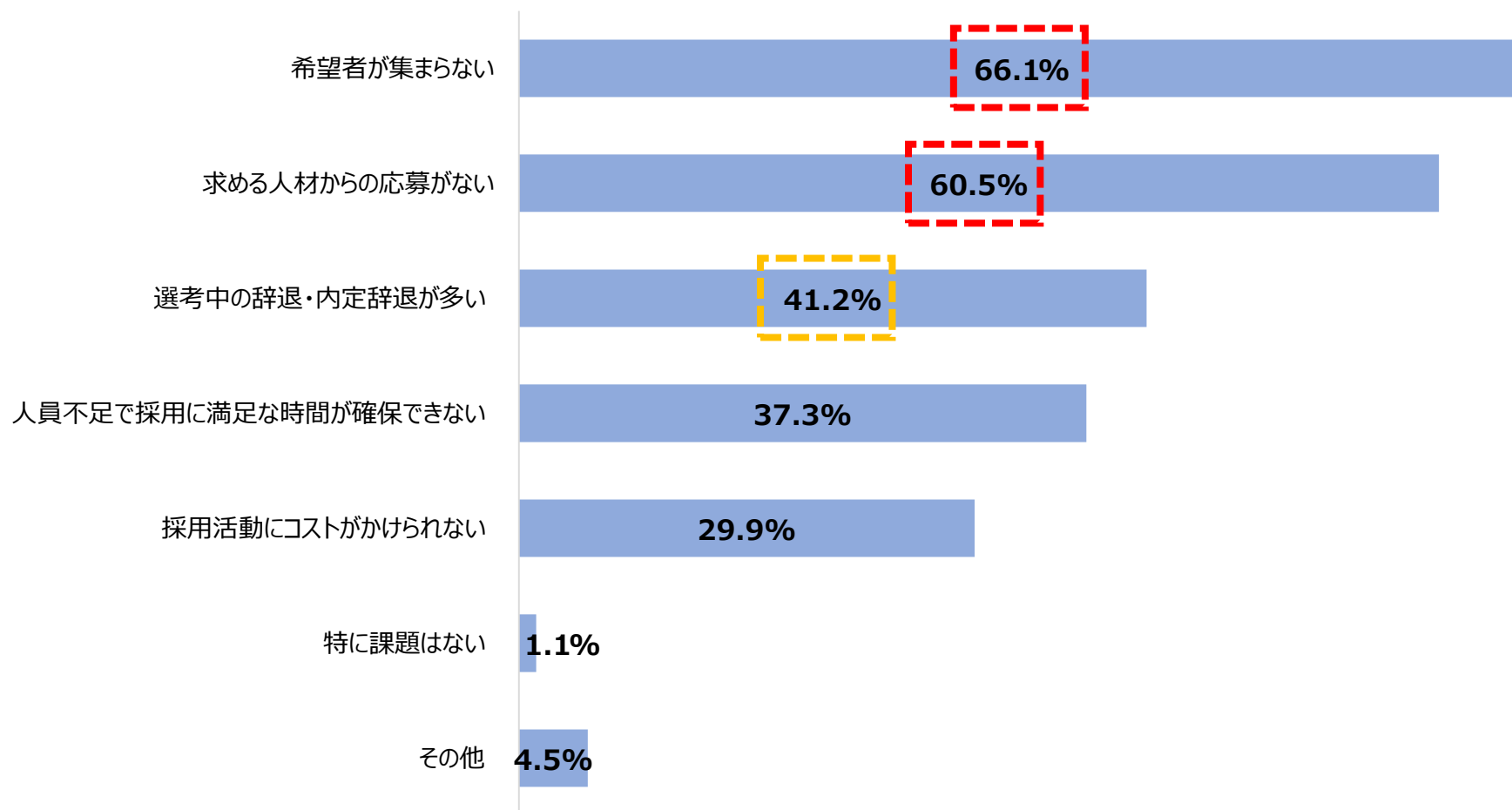
## ■採用・選考活動等におけるオンライン対応 n=177



# 新卒者の採用・選考活動における課題

- 新卒者の採用・選考活動における課題は、「希望者が集まらない（66.1%）」、「求める人材からの応募がない（60.5%）」が多い。
- 希望者の募集や求める人材からの応募に課題がある中で、4割超（41.2%）の企業が「選考中の辞退・内定辞退が多い」と回答している。

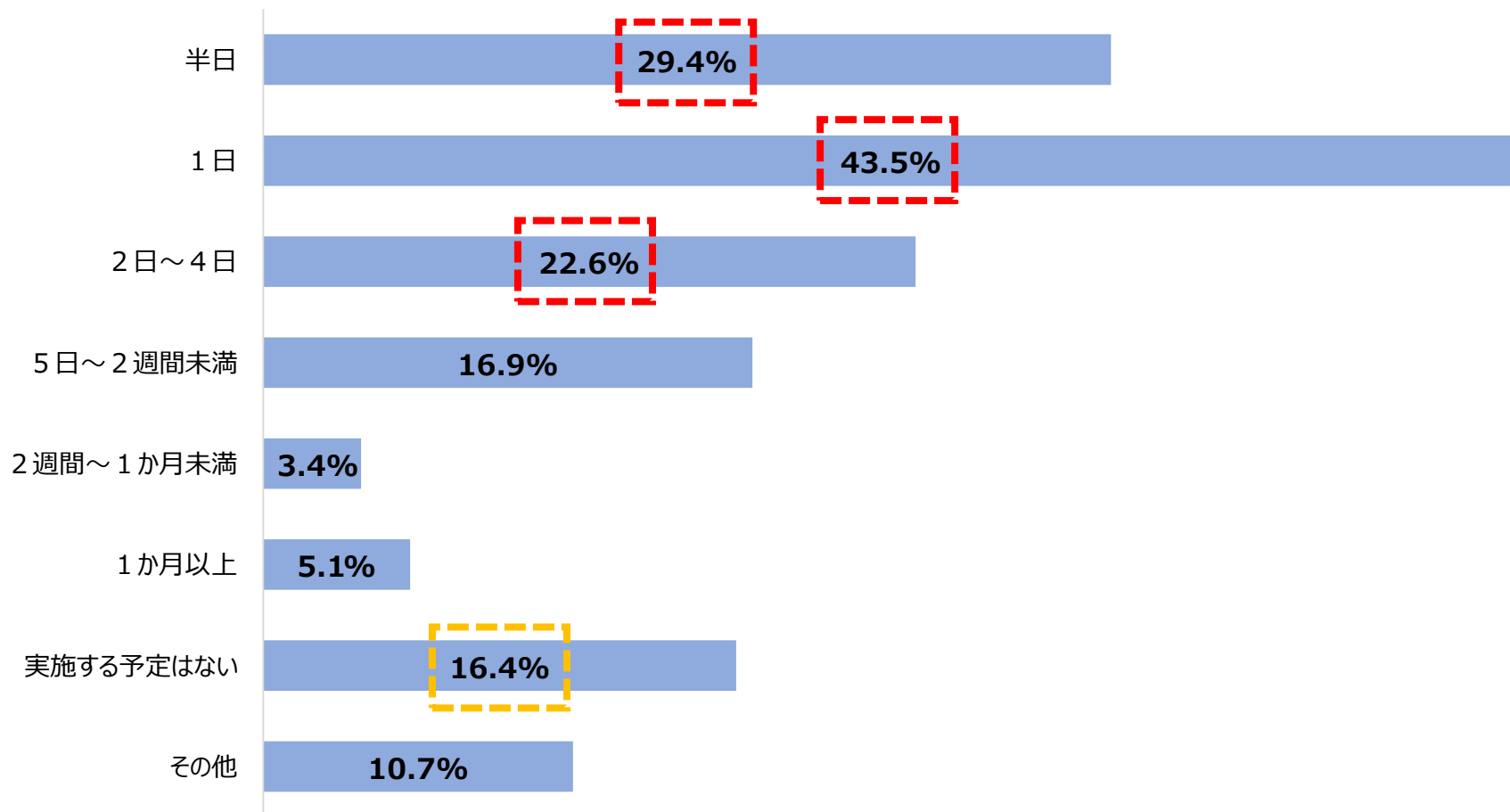
## ■新卒者の採用・選考活動における課題【複数回答】 n=177



# 今年度に実施するインターンシップ・仕事体験の期間

- 今年度に実施する（予定を含む）インターンシップ・仕事体験の期間は、「1日」との回答が43.5%で最も多く、次いで「半日（29.4%）」、「2日～4日（22.6%）」が多いことから、**短期間でのインターンシップ・仕事体験を実施する企業が多い。**
- 「実施する予定はない」と回答した企業は16.4%にとどまった。

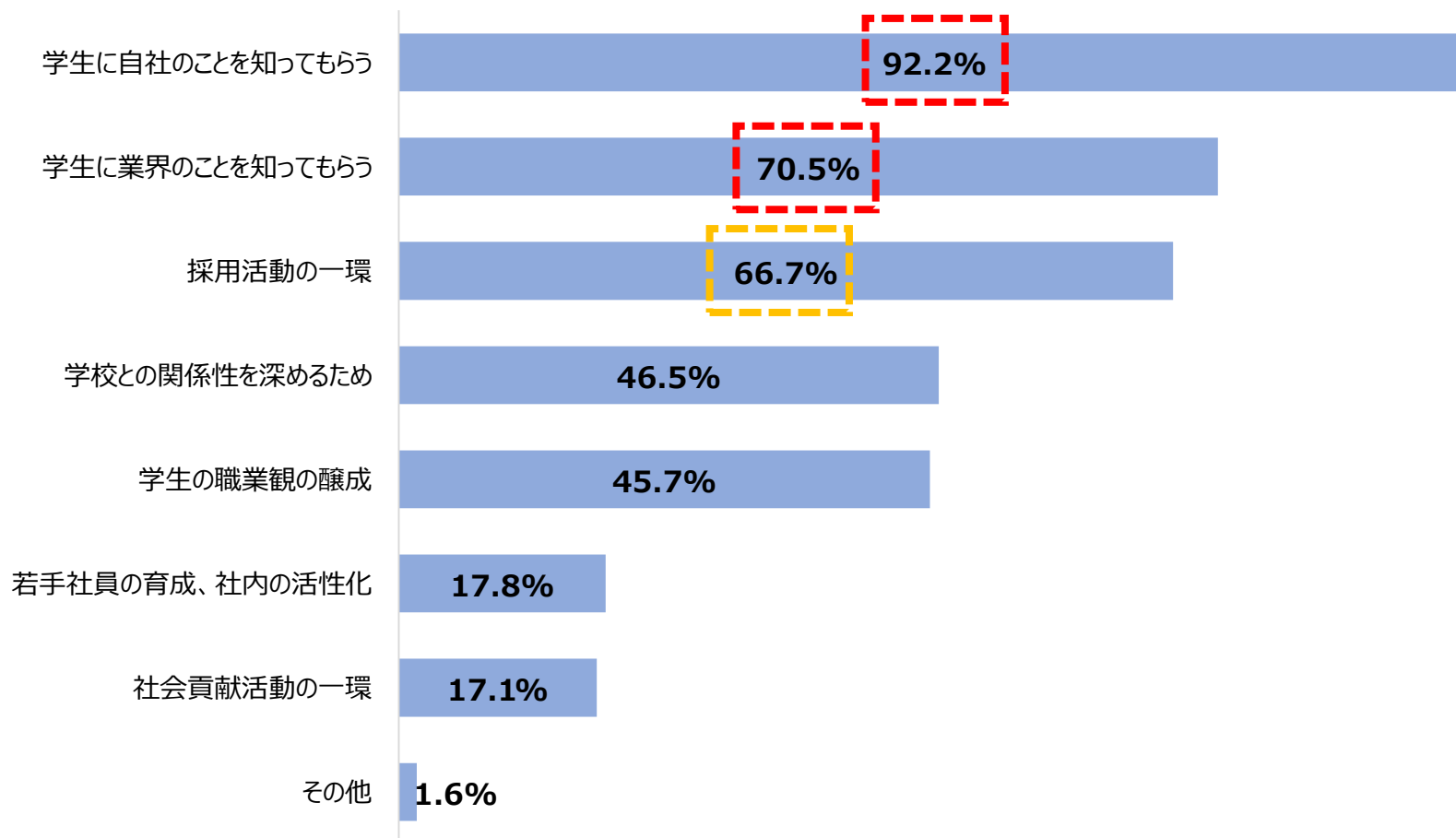
## ■今年度に実施するインターンシップ・仕事体験の期間【複数回答】 n=177



# インターンシップ・仕事体験を実施する目的

- インターンシップ・仕事体験を実施する目的は、「学生に自社のことを知ってもらう（92.2%）」、「学生に業界のことを知ってもらう（70.5%）」が多い。
- 約7割（66.7%）の企業が「採用活動の一環」と回答している。

## ■インターンシップ・仕事体験を実施する目的【複数回答】 n=129（うち無回答2）

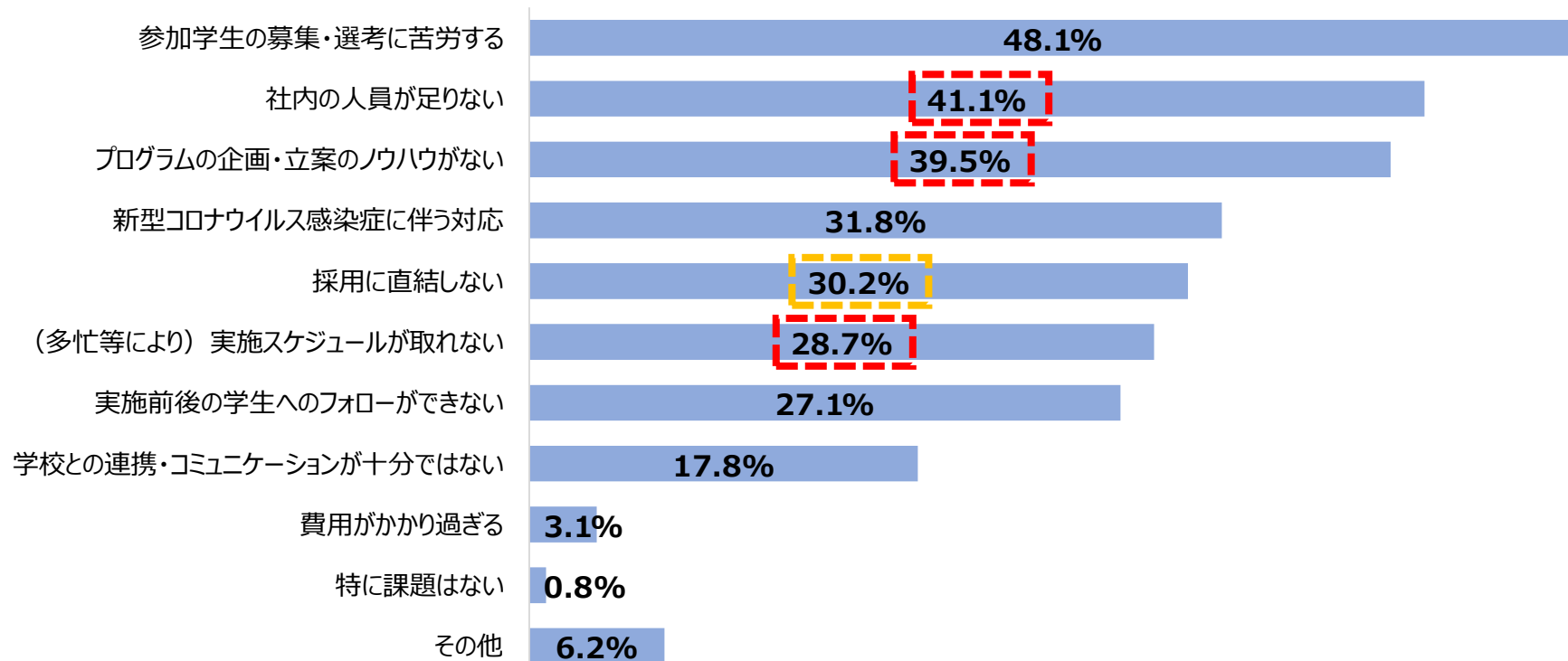


※本設問の対象:「今年度を実施するインターンシップ・仕事体験の期間」(5ページ)において、「半日」、「1日」、「2日～4日」、「5日～2週間未満」、「2週間～1か月未満」のいずれかを回答した企業。

# インターンシップ・仕事体験を実施する際の課題

- インターンシップ・仕事体験を実施する際の課題は、「参加学生の募集・選考に苦勞する（48.1%）」が最も多い。
- 「社内の人員が足りない（41.1%）」、「プログラムの企画・立案のノウハウがない（39.5%）」、「（多忙等により）実施スケジュールが取れない（28.7%）」と回答した企業が多いことから、**マンパワーやノウハウの面で課題を抱えている企業が多いことがうかがえる。**
- 採用活動の一環としてインターンシップ・仕事体験を実施している企業が多い（6ページ参照）中で、**3割（30.2%）の企業が「採用に直結しない」と回答している。**

## ■インターンシップ・仕事体験を実施する際の課題【複数回答】 n=129（うち無回答2）



※本設問の対象:「今年度を実施するインターンシップ・仕事体験の期間」(5ページ)において、「半日」、「1日」、「2日～4日」、「5日～2週間未満」、「2週間～1か月未満」のいずれかを回答した企業。

挑みつづける、変わらぬ意志で。

